

# 東日本大震災津波からの住宅復興支援の取組について 高校生に向け防災学習を実施しました

建築住宅課

東日本大震災津波の発生による仮設住宅・災害公営住宅の建設経験を中心に高校生を対象に説明を行いました。岩手県の住宅支援（応急仮設住宅、災害公営住宅）の取組として「住宅支援事業」、「応急仮設住宅の維持管理」、「災害公営住宅のコミュニティ形成」について講義をしました。

## 1 開催日時・場所

日時：令和6年7月22日 9:00～15:30

場所：（講義会場）盛岡みだけ支援学校高等部体育館  
（見学会場）災害公営住宅県営南青山アパート



## 2 参加校

7月22日

盛岡中央高等学校（家庭部）12名

県立盛岡工業高等学校（建築・デザイン科）38名

7月12日

京都市立京都工学院高等学校 ※講義のみ実施



## 3 講義内容

講義(1)能登半島地震の被災地支援について

岩手県県土整備部建築住宅課 主査 廣瀬 栄司

講義(2)東日本大震災時の仮設住宅、災害公営住宅の管理者から見た復興支援について

一般財団法人岩手県建築住宅センター住宅管理局  
工務部 部長 佐藤 好陽 様

講義(3)岩手県の震災復興～住宅事業を中心に

岩手県県南広域振興局土木部花巻土木センター  
建築指導課長 高杉 諭吏



講義(4)広域避難とコミュニティ形成 -もりおか復興支援センターの活動-

もりおか復興支援センター センター長 金野 万里 様

住戸見学 災害公営住宅 県営南青山アパート

意見交換 テーマ1「広域避難とコミュニティ形成」の講義を受けて思った事

テーマ2「東北防災学習」をどのように生かしたいか

## 4 防災学習

応急仮設住宅の建設や維持管理、恒久的な住宅復興の経験が、令和6年能登半島地震の仮設住宅建設に活かされていることを説明しました。

また、もりおか復興支援センターの金野センター長から、地域食堂や花壇づくりなど盛岡地域における被災者支援の取組を説明していただきました。内陸部でも被災地支援が行われており、継続する重要性について説明がありました。

### ■ 講義風景



- 建築の専門的な内容も詳しく解説しながら説明しました

### ■ 見学状況（災害公営住宅 南青山アパート）



- 集会所の台所には、鮭を一匹さばける流し台があります
- 張出したニッチ（くぼみ）で井戸端会議

### ■ 意見交換の様子（盛岡中央高等学校、盛岡工業高等学校）



- 活発な意見交換ができました  
（地域の人とコミュニケーションを取って、災害時も協力できるようにしたいなど）